

有機農業技術のつぼ

【NO. 9】

作物名	ミニトマト
対応技術の項目	病虫害防除技術
	物理的防除法
	防虫ネットによる侵入防止・粘着テープによる密度抑制

《情報収集先の経営概要等》

洞爺湖町 佐伯 昌彦 経験年数33年（うち有機年数33年）
 経営耕地面積 3.41ha
 ミニトマト 0.30ha（うち有機面積 0.30ha） きゅうり 0.03ha
 セルリー 1.43ha いちご 0.15ha
 大玉トマト 0.15ha かぼちゃ 0.10ha
 スイートコーン 0.10ha アスパラガス 0.10ha
 その他野菜 0.25ha おうとう 0.80ha
 労働力 家族3人 雇用1人 臨時延べ200人
 有機JAS認定の取得状況（H13年取得）

問題点

害虫の発生が多く見られるようになった

- アブラムシ類、アザミウマ類、オンシツコナジラミの多発生による収量・品質の低下

対応

防虫ネットや粘着ロールの使用で害虫密度を低減

つぼ

- 防虫ネットの使用により、害虫の進入を防止
- 有機栽培への転換期間中のみ、ハウス内に「ホリバーロール」を設置

※ 対応技術活用上の注意点

- ・ 「土づくり」が重要である
- ・ 「ホリバーロール」は施設内に侵入した害虫対策に効果的
- ・ 有機栽培への転換期間中における害虫の被害軽減が目的（転換期間中は害虫の天敵が少なく、被害が著しいため）



成果

害虫被害の軽減により収量が増加した

- 導入前 5,000kg/10a → 導入後 7,000kg/10a

【参考】

○ ホリバーロールの使用状況



○ 本事例でを使用した「防虫ネット」の種類、規格について

- ① 資材名：「サンサンネットソフライト」 日本ワイドクロス(株)
目合い：(0.4mm、0.3mm、0.2mm)
対象害虫：コナジラミ類、アザミウマ類等
- ② 資材名：「サンライトPタイプ」 大豊化学工業(株)
目合い：(0.4mm、0.3mm)
対象害虫：コナジラミ類、アザミウマ類等